

# エコラボ★プロジェクト

私たちが地球を救う！！

## ◎コンセプト◎

現在、私たちの住む地球は**地球温暖化**という大きな問題に直面している。中でも、ゴミ焼却所から発生する**ダイオキシン**が問題とされている。そして家庭ゴミとして出されるプラスチックゴミもダイオキシンの発生原因の一つとして考えられる。

そこで私たちは、ダイオキシンを少しでも減らし「**地球温暖化を防ぎたい！！**」と思い、「**エコラボ**」というプロジェクトチームをつくり地球環境を守る対策を提案します！！

1

私たちが守るんだあー！！！！

# そこで私たちはバイオプラスチックに着目しました！！

## バイオプラスチックとは？

- ①細菌によって、水やCO<sub>2</sub>に分解される生分解性プラスチックのこと。
- ②デンプンやポリ乳酸などを原料としている。

## どんなものに使われているか？

- ・車 (TOYOTA)フロアマット
- ・愛・地球博の再使用カップ
- ・弁当容器や皿、トレー、カップ
- ・日用品 (ゴミ袋、文具、紙おむつ)
- ・電気製品 (DVDプレーヤーの部品)



## ◎従来のプラスチックの現状◎

- (1) 燃焼することにより大気中に二酸化炭素が増加する。
- (2) 石油という化石燃料を使用している。
- (3) 半永久的に分解しない。
- (4) 発熱量が高いため、焼却炉が早く消耗する。

## ◎バイオプラスチックのいいところ◎

- (1) 大気中に二酸化炭素を増加させない。
- (2) 石油などの限りある化石資源を節約できる。
- (3) **土の中で分解させて土に戻すことができる。**
- (4) **使用後は回収し、原料として再利用できる。**

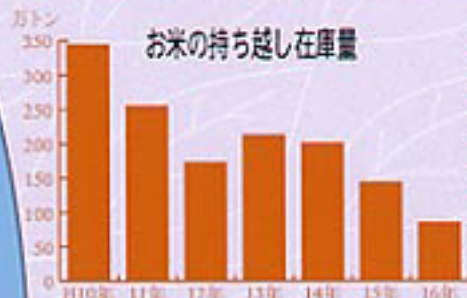
## ◎バイオプラスチックの問題点◎

- (1) あまり世の中に知られてない。
- (2) コストがかかるため、もっと安い資源で、大量生産できないだろうか。

この問題を解決するには...??



# エコラボネットワークをつくらう！！



これは、近年の日本のお米の持ち越し在庫量のグラフです。  
 毎年たくさんの量のお米が持ち越されています。  
 持ち越されていったお米は古米となり、だんだん味が落ちてきます。  
 味が落ち、出荷できなくなったお米、野菜をバイオプラスチック  
 の原料として使えるのではないかと、  
 私たちが考えたのがこのエコラボネットワークです！！

原料にできる農作物

お米

じゃがいも

とうもろこし

さつまいも



など

## ◎エコラボネットワーク◎



お米などの農作物を供給する。

農作物



農作物



契約料

エコラボとBPA会社で農作物の契約をする。

農家と会社との仲介となり、契約をもちょう。

代金

農家から買った農作物をバイオプラスチック会社に提供する。

3

